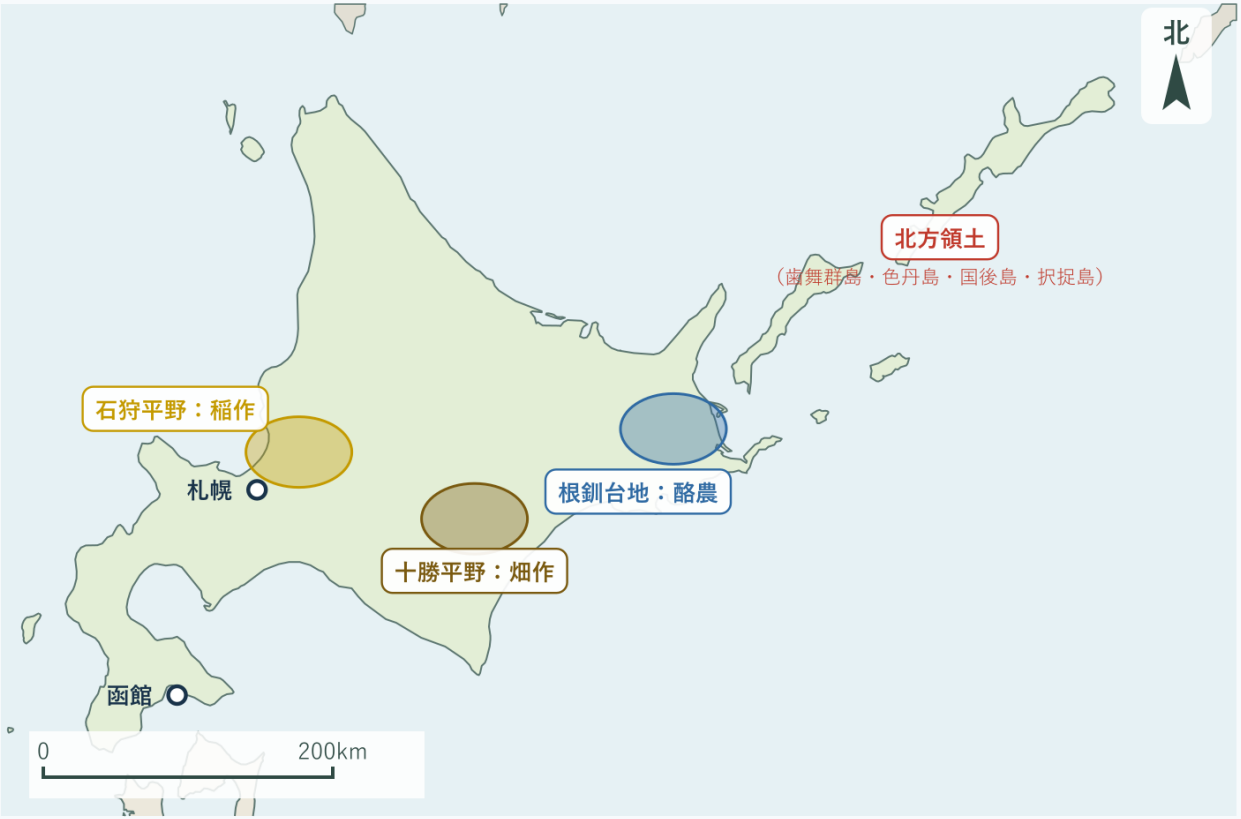
北海道地方：開拓と寒さに合わせた農業

北海道の農業は、開拓と寒さへの工夫によってどのように発展したか



寒さに合わせた農業の工夫

石狩平野：稲作

寒さに強い品種の改良
泥炭地にほかの土を入れる（客土）

↓

十勝平野：畑作

小麦・てんさい・じゃがいも・豆類を
年ごとに順番に育てる（輪作）

↓

根釧台地：酪農

夏もすずしく霧が多い。牧草を
育てて乳牛を飼い、乳製品をつくる

開拓の歩み

・1869年 蝦夷地を北海道と改め、開拓使を置く　・屯田兵が開拓と警備にあたる
・開拓の中で、アイヌの人々は土地や漁・狩りの場を失い、伝統的な暮らしが損なわれた

アイヌの人々は北海道の先住民族。
アイヌ語の地名が多く残り、文化を伝え
広める取り組みが進められている。

農業の地域は大まかな模式。北方領土は日本の固有の領土。